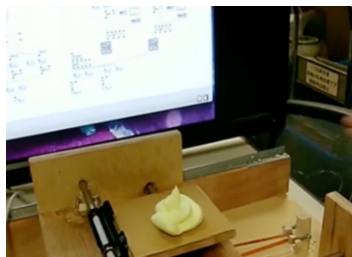


以下は長嶋ゼミ生の作品の一例です

このようなインタラクティブ作品だけでなく、モーショングラフィック映像作品、音楽パフォーマンス作品、手描きアニメーション作品、手描きマンガ(製本)など、ゼミ生の色々な作品形態の制作を支援しています



台が動き立派なうんこを自動生成するマシン



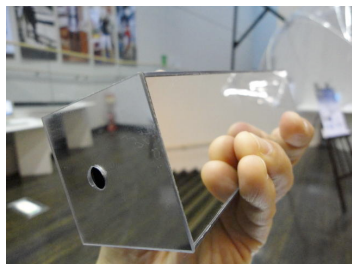
100円玉を入れると短編映像を上映する



掌の形を認識してその位置の風車が回る



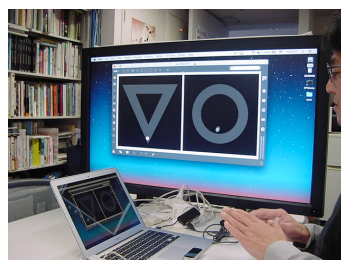
6面(楽器)×64種類(フレーズ)を同時演奏する



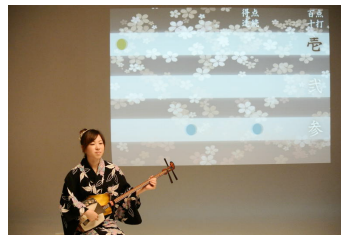
オリジナルCGパターンが光り動く万華鏡



マイクに向かって叫ぶとスクリーンに絵が



空中に右手で丸、左手で三角を描けるか



改造三味線で行うシューティングゲーム



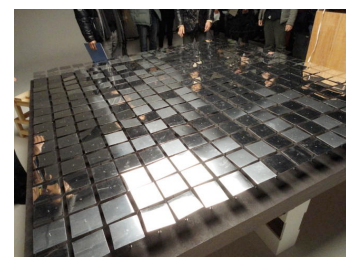
4枚のカードを並べた順番ごとの物語が出る



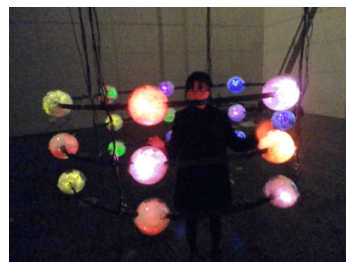
演奏を記憶して再生し光る花とセッション



乗るマウス。お尻でお絵描きする



19×19枚の板が振動して波紋が広がる



7球体(音階)が3階建(音色)、叩くと光り鳴る



8ヶ所の台にキューブを置くと合奏する楽器



シャリ上に載せたネタごとのmovieを上映